

訪問者の紹介



瀧口 太 (たきぐち ふとし) 理事

第一宇宙技術部門、第二宇宙技術部門、周波数管理室、追跡ネットワーク技術センター、筑波宇宙センター管理部



平成4年3月 大阪大学大学院基礎工学研究科物理系
専攻修士課程修了
平成4年3月 宇宙開発事業団
平成26年1月 (独)宇宙航空研究開発機構 第二衛星利用
ミッション本部プロジェクトマネージャ
平成27年4月 (国)宇宙航空研究開発機構 第二宇宙技術
部門プロジェクトマネージャ
令和4年4月 同 第二宇宙技術部門技術開発センター長



祖父江 真一 (そぶえ しんいち)

「だいち2号」(ALOS-2) ミッションマネージャー



平成元年 豊橋技術科学大学 情報工学専攻修了後
宇宙開発事業団(現JAXA)入社。
地球観測センター、NASAゴダード宇宙飛行セン
ター、SELENE(月周回衛星がぐや)勤務を経て、
ALOS-2(陸域観測技術衛星2号 だいち2号)
プロジェクトマネージャを経て、宇宙利用運用セ
ンター ALOS-2 ミッションマネージャー(現
任)。
Kennedy-Western University Ph.D 修了。
2022年より現職。
衛星データを用いた画像処理、情報システム開発
に関する研究に従事。日本リモートセンシング学
会、日本写真測量学会、情報処理学会等に所属。

チャールズ・エラチ (Charles Elachi) 博士 (77歳)

カリフォルニア工科大学教授 (8代目 NASA ジェット推進研究所 (JPL) 元所長)

※カリフォルニア工科大学の電気工学及び惑星科学教授。レバノン系アメリカ人。

2001年～2016年までNASAのJPL(ジェット推進研究所)の所長及びカリフォルニア工科大学の副学長を務められています。



(経歴)

レバノン生まれ。アメリカ人。

1968年、仏グルノーブル大学卒業(物理学)。

1971年、カリフォルニア工科大学で電気工学の博士号取得。

1979年、南カリフォルニア大学(USC)でMBA取得。

1983年、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)で地質学の修士号取得。

1970年よりジェット推進研究所勤務。

1982年には、宇宙・地球科学プログラム部長となる。これまでに、金星探査機「マゼラン」や土星探査機「カッシーニ」、スペースシャトルの合成開口レーダーなど多くの宇宙探査ミッションに携わる。

2001年より現職。また、カリフォルニア工科大学にて電気工学・惑星科学教授を務める。電気電子学会(IEEE)及び米国航空宇宙学会の特別研究員。米国工学アカデミー・国際宇宙航行学会会員

主な成果/業績

- 人工衛星やスペースシャトルに搭載したレーダーによって地表面の詳細観測をする技術確立。博士が開発した衛星搭載システムは、宇宙探査だけでなく、地球観測や災害監視など幅広い分野に応用されている。
- NASA 戦略計画委員会委員長を務めるほか、20カ国以上で宇宙探査及び地球観測について講義を行う。エジプト、オマーン及び中国では多くの考古学探査にも参加。
- 1989年には、惑星探査における功績が認められ、小惑星1982SUが4116エラチに改名される。
- 宇宙研究委員会ノードバーグ賞(1996年)、ドライデン賞(2000年)、ウェルナー・フォン・ブラウン賞(2002年)、武田賞(2002年)、ロンドン王立学会マッシー賞(2006年)のほか、NASAにおける数多くのメダル、IEEEの各賞など多数の賞を受賞している。